

地域再生計画（汚水処理施設整備交付金）事後評価調査書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	瀬戸内市	地域再生計画名	瀬戸内の人と自然が共生するまちの第2次再生計画
計画期間	平成23年度～平成28年度	評価責任者	瀬戸内市役所 上下水道部下水道課 部長 萬代 昇		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況（見込み）	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後調査	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	汚水処理施設の整備促進（汚水処理人口普及率）	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
	指標1	汚水処理施設の整備促進（汚水処理人口普及率）	50.0%	H22	58.1%	H25	58.1%	64.0%	H28	63.9%	△	汚水処理施設整備交付金の活用により、下水道事業及び浄化槽事業の効率的な整備ができた。しかし、汚水処理人口普及率は、人口の減少により、目標をやや下回ったが、ほぼ達成することができた。今後も、事業計画変更エリアを面整備することにより、汚水処理人口普及率の増加を図っていく。
	指標2	「アユモドキ」生息環境の保全	8003.0mg/L以下	H22	8003.0mg/L以下	H25	8003.0mg/L以下	8003.0mg/L以下	H28	8003.0mg/L以下	○	水質目標は達成した。千町川：2.9mg/L、香登川：1.6mg/L
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況（見込み）	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
		計画	中間年度（H25）	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	特定環境保全公共下水道事業	24,000	13,068	23,509	整備延長については、現場条件等により路線の変更をおこなう必要が生じたため、計画整備量に達することができなかったが、最終年度末には目標値の9割以上を達成することができ、今回の整備により計画整備エリアの水質保全につながったと考えている。さらに、汚水処理人口普及率の増加を図るためには、平成27年度11月に策定した、事業計画変更エリアの面整備を進めて行き、引き続き広報誌等で普及啓発活動を行っていく必要がある。							
	浄化槽（個人設置型）	816	399	724	浄化槽設置基数については、消費税増税以降の申請基数が伸び悩んだが最終年度末では計画基数の9割を達成できる見込みである。今後も広報を通じて啓発活動を行い、特にし尿汲取り及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進に重点をおいて浄化槽整備を行いたい。							
その他の事業												
計画外で独自に実施した事業	汚水処理施設の接続促進	接続等の促進に取り込む。			供用開始となった区域において、汚水処理施設への早期接続等を促進するため、市発行の広報誌等で普及啓発を行うことにより、水洗化率の向上を図ることができた。							
④評価方法	「数値目標に対する最終実績値」及び「整備量や取組の計画に対する最終実績」から、計画期間内の実施事業について評価を行った。											
⑤事後評価の公表方法	瀬戸内市上下水道部下水道課のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	汚水処理施設整備交付金を活用するとともに本事業は、地元住民からのニーズも高いことから重要事業に位置付け優先的に予算を充当したことにより計画どおり整備促進を図ることができた。また、特別措置を適用して行った浄化槽（個人設置型）整備においても効率的に実施することができ汚水処理人口普及率を目標値の9割以上を達成することができたと考えている。一方、水質保全についても、効率的な事業推進を行ったことにより、市民の快適な生活環境を図ることができたと考えている。											
⑦今後の方針等	汚水処理施設の整備による水質保全の向上は、地域住民のみならず、放流する千町川・香登川にも環境改善が目に見える状況となってきていることから、引き続き、汚水処理整備交付金を活用し公共下水道事業と浄化槽事業の整備を推進しさらなる汚水処理人口普及率の向上を図っていく。また、生活環境の改善及び水質保全を図るとともに、きれいな水を未来へ渡し、にぎわいのある地域に再生することを目指していきたいと考えている。そのためにも、汚水処理施設への早期接続の促進、浄化槽設置への啓発活動に努めていきたい。											